

事業所名

児童発達支援 いとキッズ

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

1日

法人（事業所）理念		私たちは、命への優しさと思いやりを持って、福祉と介護を提供し、地域社会へ貢献いたします。						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様のありのままを受け入れ、認め、褒めることで自己肯定感を高めます。 ・特性を理解し、個々にあった支援を行うことで、お子様の能力を引き出し、育むお手伝いをします。 ・お子様やご家族が、より豊かにのびのびと自分らしく生活できるよう、将来を見据えた支援を行います。 						
営業時間		9時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・検温と手指消毒を実施し感染症の予防に努めます。 ・食事や水分摂取量、排泄状況を把握し、ひとりひとりの健康状態を把握します。意思表示の困難なお子様のサインに気付けるようにきめ細かな観察を行います。 ・家庭や学校と連携して睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に付けることができるよう支援します。 ・食事や排泄、衣服の着脱等生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援します。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・運動あそびを通して、筋力の維持・強化を図ります。 ・ストレッチやマッサージを行い拘縮や変形の予防に努めます。 ・感覚あそびや制作を通して、感覚ニーズを満たしたり、微細運動を養っていきます ・感覚の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する配慮や支援を行います。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・カレンダーによる日付の確認や本や歌を通して数への興味や概念の形成を図ります。 ・イラストやタイムタイマー等視覚的な要素を取り入れながら、情報を整理し理解を高めるとともに自発的な行動を引き出していきます。 ・認知の特性を踏まえ、認知の偏りに対する配慮や支援を行います。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・本や歌、あそびの要求などを通して言語への興味を引き出し、習得や表出を促していきます。 ・言葉や指差し、身振り、カードなどを用いて意思を表現できるよう支援し、意思伝達の方法や手段を獲得できるよう支援します。 ・多様なコミュニケーション手段を活用し、意思疎通の喜びを感じたり、理解力を高めることができるよう支援します。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフとの信頼関係を構築し、人への興味関心を引き出していきます。 ・褒められたり認められることで自己肯定感を育みます。 ・集団活動を通して他者の思いを知ったり、自分の感情をコントロールする力を育み、人間関係を構築していけるよう支援します。 ・施設外活動を通してマナーやルールを学ぶことができるよう支援します。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の発達状況や特性の理解に向けた相談援助を行います。 ・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助を行います。 ・レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援を行います。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所や小学校への移行にむけた、移行先との調整、移行先との支援内容等の共有や支援方法の伝達、受入体制づくりへの協力をを行います。 ・将来的な移行を見据えて支援目標や支援内容を設定します。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携を行います。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・事業者内研修を毎月1回程度行っています。 ・公的機関が開催する法定研修やスキルアップ研修、専門研修に参加しています。 	
主な行事等		毎月誕生会を行います。季節の行事として、初詣、節分、七夕、夏祭り、運動会、クリスマス会などを行っています。その他、芋ほりや稲刈りなどの農業体験を行っています。						